

努力賞

大切なこと

荒川区立尾久宮前小学校 二年

まつ本 なな

やなぎ田先生、はじめまして。わたしは、心のこる本に出あいました。そして、たいせつなことってなんなのだろうと考えることができました。

図書かんにライオンがきました。さいしょは、みんなびっくりしていました。わたしも図書かんにライオンがくるなんて思わないから、びっくりしました。でもライオンは、図書かんがすきで話しが聞きたくて図書かんにきたのです。わたしも図書かんがすきだから気持ちがよく分かります。図書かんちょうのメリウエザーさんは、きまりをまもればきてもいいですよって言うてくれました。

わたしは、本当にきまりをまもってくれるのかなと思って心ぱいになりました。

ライオンは、毎日お話しの時間まで図書かんのお手つだいをしていました。みんなともすぐになかよくなれて、わたしもとてもうれしかったです。でも、メリウエザーさんがだいからおちてケガをしたとき、ライオンはたすけようとして、ろうかを走って大声でほえてしまいました。きまりをやぶってしまったから、ライオンは、図書かんを出ていってしまいました。どうしてライオンが出ていけないといけないのかなと思って、とてもさみしかったです。わたしでも、そのとき、きまりをまもれなかったかもしれないと思います。でもマクビーさんが、ライオンをさがして図書かんにもどることができました。すごくすごくうれしかった。

たし、ほつとしました。

わたしは、きまりは大切なことだと思います。

いつもまもううと思っています。でも、お友だちがケガをしたりびょうきになってしまったときはきまりよりもお友だちのほうが、大切だと思います。わたしにとって大切なことは、やっぱりお友だちだなと思いました。これからも大切にしていきたいです。